



AMUSE

## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年5月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東  
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 柴 洋二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月23日 配当支払開始予定日 2019年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	55,166	16.7	4,479	34.0	4,611	42.4	4,442	135.4
2018年3月期	47,283	△6.6	3,342	△37.7	3,237	△38.1	1,887	△6.7

(注) 包括利益 2019年3月期 4,410百万円 (116.1%) 2018年3月期 2,040百万円 (27.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	256.95	—	16.5	10.9	8.1
2018年3月期	109.29	—	7.8	8.4	7.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 44百万円 2018年3月期 △194百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	45,599	30,445	63.3	1,668.99
2018年3月期	39,076	26,604	64.0	1,448.00

(参考) 自己資本 2019年3月期 28,876百万円 2018年3月期 25,017百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	5,505	664	△561	24,955
2018年3月期	△813	184	△537	19,346

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	438	22.9	1.8
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	702	15.6	2.6
2020年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00		26.5	

2019年3月期の第2四半期末及び期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 7円50銭

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,550	9.8	2,490	39.9	2,600	32.4	1,520	△35.4	87.91
通期	50,260	△8.9	3,610	△19.4	3,770	△18.2	2,280	△48.7	131.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	18,623,520株	2018年3月期	18,623,520株
2019年3月期	1,321,519株	2018年3月期	1,346,181株
2019年3月期	17,290,965株	2018年3月期	17,269,765株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2019年3月期256,090株、2018年3月期281,180株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2019年3月期267,278株、2018年3月期289,226株）。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	43,993	11.7	3,734	24.4	3,924	18.5	3,824	81.2
2018年3月期	39,384	0.1	3,002	△1.8	3,311	3.1	2,111	32.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	221.20	—
2018年3月期	122.26	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	40,637		27,148		66.8		1,569.10	
2018年3月期	35,668		23,853		66.9		1,380.62	

(参考) 自己資本 2019年3月期 27,148百万円 2018年3月期 23,853百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。
2. 当社は、2019年5月15日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	7
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 連結貸借対照表 .....	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	10
連結損益計算書 .....	10
連結包括利益計算書 .....	11
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(追加情報) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	47,283	55,166	7,882	16.7
営業利益	3,342	4,479	1,137	34.0
経常利益	3,237	4,611	1,373	42.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,887	4,442	2,555	135.4

〔経済状況〕

当連結会計年度のわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、中国経済減速の影響により輸出や生産の一部に弱さがみられるなど、今後も通商問題の動向、金融資本市場の変動などに留意すべき状況が続いております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入551億6千6百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益44億7千9百万円（前年同期比34.0%増）、経常利益46億1千1百万円（前年同期比42.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益44億4千2百万円（前年同期比135.4%増）となりました。大型コンサートツアーの増加によるイベント収入及び関連グッズ収入が好調であり増収となりました。利益に関しましては、増収要因に加え販売費及び一般管理費の減少、持分法投資損益の改善、固定資産売却益など特別利益の計上により大幅な増益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が増加
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ ファンクラブ会員収入が増加
- ・ 印税収入（新譜・旧譜）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益>

- ・ 増収に伴う増益に加え、販売費及び一般管理費の減少により増益となりました。

<経常利益>

- ・ 持分法投資損益の改善により増益となりました。

<親会社株主に帰属する当期純利益>

- ・ 固定資産売却益など特別利益の計上により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	40,969	48,838	7,869	19.2
メディアビジュアル事業	1,479	1,108	△371	△25.1
コンテンツ事業	2,561	2,992	430	16.8
プレイスマネジメント事業	2,272	2,226	△46	△2.0
合計	47,283	55,166	7,882	16.7

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	3,572	4,440	868	24.3
メディアビジュアル事業	△93	△23	69	—
コンテンツ事業	921	1,086	165	18.0
プレイスマネージメント事業	△70	△185	△115	—
調整額	△986	△837	149	—
合計	3,342	4,479	1,137	34.0

**【アーティストマネージメント事業】**

営業収入488億3千8百万円(前年同期比19.2%増)、セグメント利益44億4千万円(前年同期比24.3%増)となり、増収増益となりました。

**【主な事業】**

- ・ イベント収入: <コンサート>  
福山雅治、星野源、ONE OK ROCK、SEKAI NO OWARI、ポルノグラフィティ、Perfume、BABYMETAL、高橋優のコンサートツアー  
<舞台・公演>  
地球ゴージャス「ZEROTOPIA」、熱海五郎一座「船上のカナリアは陽気な不協和音」
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ  
ONE OK ROCK、福山雅治、BABYMETALの音楽パッケージ
- ・ ファンクラブ収入: サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、ONE OK ROCK、SEKAI NO OWARI
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(アルバムCD)、星野源(アルバムCD)
- ・ 出演収入・CM収入: 大泉洋、福山雅治、吉高由里子、神木隆之介、サザンオールスターズ、佐藤健など

**<営業収入>**

- ・ イベント収入(大型コンサート公演数、規模など)が増加  
(前年同期は桑田佳祐、星野源、ONE OK ROCK、福山雅治、ポルノグラフィティ、BABYMETAL、Perfume、高橋優のコンサートなど)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加  
(前年同期よりイベント増加による関連グッズ増加、音楽パッケージ大型作品増加)
- ・ ファンクラブ収入(サザンオールスターズ)が増加
- ・ 印税収入(新譜)(サザンオールスターズ、星野源)が増加

上記要因などにより増収となりました。

**<セグメント利益>**

増収要因により増益となりました。

**【メディアビジュアル事業】**

営業収入11億8百万円(前年同期比25.1%減)、セグメント損失2千3百万円(前年同期は9千3百万円のセグメント損失)となり、減収増益となりました。

**【主な事業】**

- ・ 映像作品販売収入: TEAM NACS舞台「PARAMUSHIR」、  
大泉洋主演映画「探偵はBARにいる3」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入: 佐藤健主演映画「8年越しの花嫁」、「億男」、  
神木隆之介主演映画「フォルトゥナの瞳」などの劇場配給分配収入
- ・ 番組制作収入: 映画「ギャングース」制作受託など

<営業収入>

- ・ 映像作品販売収入が減少  
(前年同期は福山雅治主演映画「三度目の殺人」、星野源主演ドラマ「プラージュ」などのDVD販売収入)
- ・ 映像製作収入が減少  
(前年同期は「三度目の殺人」などの配給・DVD分配収入)

上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 音楽パッケージ販売手数料(主にONE OK ROCK関連)が好調であり増益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入29億9千2百万円(前年同期比16.8%増)、セグメント利益10億8千6百万円(前年同期比18.0%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK、BABYMETALなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

- ・ 著作権印税の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 増収要因により増益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入22億2千6百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント損失1億8千5百万円(前年同期は7千万円のセグメント損失)となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

- ・ 東京ワンピースタワーのフォト・グリーティングなどのパーク内イベント収入が低調であったことなどにより、減収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 減収要因により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 2018年3月期	当連結会計年度 2019年3月期	増減額
総資産 (百万円)	39,076	45,599	6,523
純資産 (百万円)	26,604	30,445	3,841
自己資本比率 (%)	64.0	63.3	△0.7
1株当たり純資産 (円)	1,448.00	1,668.99	220.99

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は45億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億2千3百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「現金及び預金」の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は151億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千1百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は304億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億4千1百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は63.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2018年3月期	当連結会計年度 2019年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△813	5,505	6,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	184	664	480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△537	△561	△23
現金及び現金同等物の期末残高	19,346	24,955	5,608

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ56億8百万円増加し、当連結会計年度末には249億5千5百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は55億5百万円（前年同期は8億1千3百万円の使用）となりました。

これは、主に法人税等の支払による資金減少要因はありましたが、営業債務の増加及び税金等調整前当期純利益計上に伴う資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は6億6千4百万円（前年同期は1億8千4百万円の獲得）となりました。

これは、主に有形固定資産、関係会社株式の取得による資金減少要因を、有形固定資産の売却による資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億6千1百万円（前年同期は5億3千7百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの次期の業績見通しは、営業収入502億6千万円（前年同期比8.9%減）、営業利益36億1千万円（前年同期比19.4%減）、経常利益37億7千万円（前年同期比18.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益22億8千万円（前年同期比48.7%減）を計画しております。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	翌連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	55,166	50,260	△4,906	△8.9
営業利益	4,479	3,610	△869	△19.4
経常利益	4,611	3,770	△841	△18.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,442	2,280	△2,162	△48.7

<営業収入>

- ・ 大型イベントが減少
- ・ 大型音楽作品のリリースが減少

上記要因などにより、減収となる計画です。

<営業利益>

減収要因などにより減益となる計画です。

<経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益>

経常利益については営業利益の減益により減益に、

親会社株主に帰属する当期純利益については上記要因に加え、前期の所有不動産売却による特別利益がないため、減益となる計画です。

セグメントの業績見通しは、次のとおりであります。

[アーティストマネージメント事業]

減収減益となる計画です。

[主な事業]

- ・ イベント収入：<コンサート>

サザンオールスターズ（4-6月）、ボルノグラフィティ（9月）、BABYMETAL（6月、7月）、SEKAI NO OWARI（4-8月）のコンサートツアーなど

<舞台・公演>

「Kinky Boots」（4-5月）など

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、吉高由里子、佐藤健、神木隆之介など
- ・ 印税収入（新譜）：BABYMETAL アルバム、桑田佳祐 DVD、Perfume DVDなど
- ・ ファンクラブ収入・商品売上収入：サザンオールスターズのファンクラブ会員収入、グッズなど

<営業収入>

大型イベントや、大型音楽作品のリリースが減少することにより減収となる計画です。

<セグメント利益>

減収要因により減益となる計画です。



**[メディアビジュアル事業]**

当期と同程度となる計画です。

**[主な事業]**

- ・ 映像作品販売収入：「ギャングース」(6月)などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：大泉洋主演映画「そらのレストラン」、福山雅治主演映画「マチネの終わりに」などの劇場配給分配収入

**<営業収入>**

当期と同程度となる計画です。

**<セグメント利益>**

当期と同程度となる計画です。

**[コンテンツ事業]**

減収減益となる計画です。

**[主な事業]**

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ONE OK ROCK、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

**<営業収入>**

当期のような大型作品リリースの予定がないため、減収となる計画です。

**<セグメント利益>**

減収要因により減益となる計画です。

**[プレイスマネージメント事業]**

当期と同程度となる計画です。

**[主な事業]**

- ・ 東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入

**<営業収入>**

当期と同程度となる計画です。

**<セグメント利益>**

当期と同程度となる計画です。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

**2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,889,186	25,473,265
受取手形及び営業未収入金	6,378,832	6,625,207
商品及び製品	2,005,220	1,667,763
仕掛品	1,855,400	1,865,628
原材料及び貯蔵品	109,241	131,270
その他	2,358,646	2,084,886
貸倒引当金	△1,024,164	△443,564
流動資産合計	31,572,363	37,404,458
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	928,695	1,118,319
土地	1,527,068	856,597
リース資産(純額)	43,926	29,513
その他(純額)	146,606	580,650
有形固定資産合計	2,646,296	2,585,080
無形固定資産		
のれん	245,013	163,342
その他	222,877	344,511
無形固定資産合計	467,891	507,854
投資その他の資産		
投資有価証券	2,415,067	2,928,140
繰延税金資産	832,371	981,934
その他	1,342,954	1,395,663
貸倒引当金	△200,691	△203,704
投資その他の資産合計	4,389,701	5,102,034
固定資産合計	7,503,888	8,194,968
資産合計	39,076,252	45,599,427

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	8,210,362	10,117,304
リース債務	31,873	16,453
未払法人税等	959,753	1,383,424
役員賞与引当金	23,571	34,935
従業員株式給付引当金	12,050	2,835
返品調整引当金	1,640	14,300
ポイント引当金	18,930	24,027
その他	2,083,754	2,173,684
流動負債合計	11,341,936	13,766,963
固定負債		
リース債務	16,805	23,878
繰延税金負債	8,693	—
役員株式給付引当金	36,859	61,432
退職給付に係る負債	1,022,041	1,264,058
その他	45,587	37,485
固定負債合計	1,129,988	1,386,856
負債合計	12,471,924	15,153,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	2,096,355	2,072,202
利益剰余金	22,628,045	26,500,281
自己株式	△1,288,601	△1,240,594
株主資本合計	25,023,624	28,919,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,928	34,906
為替換算調整勘定	△48,016	△77,772
その他の包括利益累計額合計	△6,087	△42,865
非支配株主持分	1,586,790	1,568,758
純資産合計	26,604,327	30,445,607
負債純資産合計	39,076,252	45,599,427

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収入	47,283,807	55,166,276
営業原価	37,225,918	44,271,626
営業総利益	10,057,889	10,894,649
返品調整引当金繰入額	—	12,660
返品調整引当金戻入額	3,360	—
差引営業総利益	10,061,249	10,881,989
販売費及び一般管理費	6,718,352	6,402,000
営業利益	3,342,897	4,479,989
営業外収益		
受取利息	2,762	2,295
受取配当金	11,386	25,197
持分法による投資利益	—	44,472
為替差益	—	23,552
受取手数料	11,823	8,664
事業組合投資利益	32,884	10,148
その他	55,701	32,974
営業外収益合計	114,557	147,303
営業外費用		
固定資産除却損	11,761	11,868
持分法による投資損失	194,222	—
為替差損	10,989	—
その他	2,743	4,405
営業外費用合計	219,716	16,273
経常利益	3,237,737	4,611,019
特別利益		
固定資産売却益	—	1,728,718
投資有価証券売却益	428,558	5,310
特別利益合計	428,558	1,734,028
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,686
減損損失	184,281	8,480
特別損失合計	184,281	10,166
税金等調整前当期純利益	3,482,014	6,334,881
法人税、住民税及び事業税	1,617,904	2,039,517
法人税等調整額	△203,339	△152,522
法人税等合計	1,414,565	1,886,994
当期純利益	2,067,449	4,447,886
非支配株主に帰属する当期純利益	180,111	5,005
親会社株主に帰属する当期純利益	1,887,338	4,442,880

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	2,067,449	4,447,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,449	△7,088
為替換算調整勘定	△23,207	△30,329
持分法適用会社に対する持分相当額	116	66
その他の包括利益合計	△26,540	△37,351
包括利益	2,040,908	4,410,534
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,858,684	4,406,103
非支配株主に係る包括利益	182,223	4,431

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587,825	2,109,793	21,179,696	△1,321,284	23,556,031
当期変動額					
剰余金の配当			△438,988		△438,988
親会社株主に帰属する当期純利益			1,887,338		1,887,338
自己株式の取得				△4,522	△4,522
自己株式の処分		206		37,205	37,412
連結子会社株式の取得による持分の増減		△13,645			△13,645
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△13,438	1,448,349	32,682	1,467,593
当期末残高	1,587,825	2,096,355	22,628,045	△1,288,601	25,023,624

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	45,262	△22,696	22,565	1,524,110	25,102,706
当期変動額					
剰余金の配当					△438,988
親会社株主に帰属する当期純利益					1,887,338
自己株式の取得					△4,522
自己株式の処分					37,412
連結子会社株式の取得による持分の増減					△13,645
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,333	△25,319	△28,653	62,680	34,027
当期変動額合計	△3,333	△25,319	△28,653	62,680	1,501,621
当期末残高	41,928	△48,016	△6,087	1,586,790	26,604,327

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587,825	2,096,355	22,628,045	△1,288,601	25,023,624
当期変動額					
剰余金の配当			△570,645		△570,645
親会社株主に帰属する当期純利益			4,442,880		4,442,880
自己株式の取得				△1,444	△1,444
自己株式の処分		84		49,450	49,535
連結子会社株式の取得による持分の増減		△24,237			△24,237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△24,152	3,872,235	48,006	3,896,089
当期末残高	1,587,825	2,072,202	26,500,281	△1,240,594	28,919,714

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	41,928	△48,016	△6,087	1,586,790	26,604,327
当期変動額					
剰余金の配当					△570,645
親会社株主に帰属する当期純利益					4,442,880
自己株式の取得					△1,444
自己株式の処分					49,535
連結子会社株式の取得による持分の増減					△24,237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7,022	△29,755	△36,777	△18,032	△54,810
当期変動額合計	△7,022	△29,755	△36,777	△18,032	3,841,279
当期末残高	34,906	△77,772	△42,865	1,568,758	30,445,607

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,482,014	6,334,881
減価償却費	287,521	306,437
のれん償却額	135,286	81,671
貸倒引当金の増減額(△は減少)	875,127	△577,586
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,429	11,364
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	36,859	24,573
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	12,050	△9,214
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,360	12,660
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	45,488	242,050
ポイント引当金の増減額(△は減少)	469	5,096
受取利息及び受取配当金	△14,148	△27,492
持分法による投資損益(△は益)	194,222	△44,472
事業組合投資損益(△は益)	△32,884	△10,148
有形固定資産除却損	—	11,868
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,728,718
投資有価証券売却損益(△は益)	△428,558	△5,310
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,686
減損損失	184,281	8,480
営業債権の増減額(△は増加)	△1,736,809	△246,375
たな卸資産の増減額(△は増加)	△955,103	305,532
営業債務の増減額(△は減少)	△89,074	1,835,382
未払消費税等の増減額(△は減少)	△251,781	348,458
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△576,964	91,549
その他の流動負債の増減額(△は減少)	159,499	△28,258
その他	31,100	△54,168
小計	1,349,807	6,889,947
利息及び配当金の受取額	14,146	27,575
利息の支払額	—	△642
法人税等の還付額	25,443	164,317
法人税等の支払額	△2,202,771	△1,576,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	△813,373	5,505,077
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,013	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	1,524,471	1,027,040
有形固定資産の取得による支出	△125,882	△1,041,519
有形固定資産の売却による収入	—	2,531,400
無形固定資産の取得による支出	△87,030	△198,705
投資有価証券の取得による支出	△181,700	△200,000
投資有価証券の売却による収入	440,384	39,510
関係会社株式の取得による支出	△954,306	△522,611
関係会社株式の売却による収入	28,000	3,500
貸付けによる支出	△23,995	△16,879
貸付金の回収による収入	24,307	23,589
その他	39,919	19,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	184,156	664,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
非支配株主からの払込みによる収入	3,400	—
自己株式の取得による支出	△4,522	△1,444
自己株式の売却による収入	37,205	50,062
配当金の支払額	△439,313	△570,538
非支配株主への配当金の支払額	△112,696	△22,464
その他	△21,682	△16,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△537,609	△561,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,687	△710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,188,514	5,608,226
現金及び現金同等物の期首残高	20,535,453	19,346,939
現金及び現金同等物の期末残高	19,346,939	24,955,165



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(退職給付債務の計算方法の変更)

当社は、退職給付債務の計算方法について、従来まで簡便法によっておりましたが、対象従業員が300人を超えたため、当連結会計年度末より原則法に変更しております。この変更に伴い、当連結会計年度末における退職給付に係る負債が213,735千円増加し、退職給付費用として売上原価に173,366千円、販売費及び一般管理費に40,368千円計上しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」、「プレイスマネージメント事業」として分類しております。

「アーティストマネージメント事業」は、イベント収入（コンサート・イベント・舞台等の収入）、ファンクラブ・商品売上収入（アーティストグッズ等の企画・制作・販売収入、音楽作品の発売による収入、ファンクラブ会費収入）、出演収入・CM収入、印税収入（新譜：初回収益計上日より1年以内分）等であり、「メディアビジュアル事業」は、映像作品販売収入、映像製作収入、番組制作収入等であり、「コンテンツ事業」は、音楽・映像収入（旧譜：音楽は初回収益計上日より1年超経過分、映像は同2年超経過分）等であり、「プレイスマネージメント事業」は、入場料収入（テーマパークの運営収入）、その他の収入（各種グッズの企画・制作・販売収入、飲食店収入等）等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	40,969,605	1,479,921	2,561,911	2,272,369	47,283,807	—	47,283,807
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	98,065	183,282	304,428	58,865	644,642	△644,642	—
計	41,067,670	1,663,204	2,866,340	2,331,235	47,928,450	△644,642	47,283,807
セグメント利益 又は損失(△)	3,572,549	△93,486	921,166	△70,667	4,329,562	△986,664	3,342,897
その他の項目							
減価償却費	177,708	3,282	21,803	17,057	219,852	67,669	287,521

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	48,838,805	1,108,635	2,992,645	2,226,188	55,166,276	—	55,166,276
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	78,246	302,751	346,049	54,082	781,130	△781,130	—
計	48,917,051	1,411,387	3,338,695	2,280,271	55,947,406	△781,130	55,166,276
セグメント利益 又は損失(△)	4,440,634	△23,945	1,086,576	△185,785	5,317,479	△837,489	4,479,989
その他の項目 減価償却費	148,716	950	17,734	8,227	175,629	130,807	306,437

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	58,173	672,815
全社費用※	△1,044,838	△1,510,305
合計	△986,664	△837,489

※主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

(2) その他の項目 減価償却費

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	67,669	130,807
合計	67,669	130,807

※主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る減価償却費であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	1,448.00	1,668.99
1株当たり当期純利益(円)	109.29	256.95

- (注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度281,180株、当連結会計年度256,090株)。
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度289,226株、当連結会計年度267,278株)。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,887,338	4,442,880
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(千円)	1,887,338	4,442,880
期中平均株式数(株)	17,269,765	17,290,965

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 減損損失

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
その他	のれん	CROONER PTE. LTD.	シンガポール	167,907
事業用資産	建物 有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	ブラッセルズ株式会社	東京都千代田区他	16,373

(注) 当社グループは、連結子会社につきましては、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位にて資産のグルーピングを行っており、のれんについては、原則として会社単位でグルーピングを行っております。当社の連結子会社であるCROONER PTE. LTD. において、株式取得時に超過収益力を前提としたのれんを計上しておりましたが、事業計画の見直しを行った結果、当初想定していた収益の達成は困難であると判断したことから、当連結会計年度末における未償却残高を減損損失として計上しております。また、当社の連結子会社であるブラッセルズ株式会社が運営するプレイスマネジメント事業用資産の一部につきまして、収益性の低下により回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を認識しております。なお、回収可能価額は、使用価値によっており、将来キャッシュ・フローの見積額がマイナスとなる見込となったことから、当該事業用資産の帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
事業用資産	有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	Amuse Group USA, Inc.	米国 (カリフォルニア州)	8,480

(注) 当社グループは、連結子会社につきましては、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位にて資産のグルーピングを行っております。当社の連結子会社であるAmuse Group USA, Inc. が運営するアーティストマネジメント事業用資産の一部につきまして、収益性の低下により回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を認識しております。なお、回収可能価額は、使用価値によっており、将来キャッシュ・フローの見積額がマイナスとなる見込となったことから、当該事業用資産の帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

(2) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日付(2019年5月13日)で公表いたしました「代表取締役・取締役の変動のお知らせ」をご参照ください。